

校長室から (NO. 23)

「マナーキッズ・プロジェクト」に参加して

3学期が始まり、学校に活気がもどりました。そして、1年間の中でも、この時期になると、子供たちの成長をそこかしこで感じます。進級を控え、子供たちにはその学年でしか学べないことにしっかりと取り組んでほしいと思っています。

そんな中…、今日は、3年生児童が、「マナーキッズ・プロジェクト」という特別授業を受けました。テニスというスポーツを通して、挨拶・ルール・技能等、日頃学べないようなことを教わることができました。

心に残ったのは、「丁寧な挨拶」についての話でした。



- 1 よい姿勢であること
- 2 お辞儀と言葉を分けてすること（分離挨拶）
- 3 やさしいお顔で
- 4 声は明るく
- 5 心のリボンを出して、相手の心のリボンとしっかり結ぶようなつもりで

「心のリボン」の説明は、子供たちに分かりやすく、いい加減な挨拶では、互いの心は結ばれないということが理解できたようです。また、目上の人に対しては、自分からということも教わりました。

慌ただしい毎日、それを言い訳にせず、フォーマルとカジュアルを正しく使い分ける術を教えることは、子供たちのために必要なことなんだと思いました。

富山県テニス協会の中川先生、若杉先生ありがとうございました。

きっと、日頃の学校生活に生かすことができるにちがいありません。

